

目 次

序	本書の目的	1
第 1 章	官僚組織行動の分析視角	5
1	電気通信事業改革の概要	5
2	問題の所在	6
3	中国共産党と国務院	7
4	先行研究の検討	9
5	分析視角の提示	15
6	分析の構成	17
第 2 章	郵電部と所管副首相の対立 ——中国聯通の設立認可過程	19
1	アジェンダをめぐる郵電部と機械電子工業部の競争	20
2	中央指導者に対する郵電部と機械電子工業部の行動比較	32
3	国務院による中国聯通の設立認可	39
4	中央指導者と郵電部、機械電子工業部との相互作用	49
	結 び	55
第 3 章	郵電部と所管副首相の相互作用 ——中国聯通のサービス確定過程	57
1	郵電部と中国聯通準備指導グループの対立	57
2	中国聯通に対するサービス参入規制強化と郵電部の政治的妥協	60
3	中国聯通の出資主体とその出資背景	65

4	出資主体間の対立と中国聯通準備指導グループの限界	72
結	び	75

第4章 情報産業部と首相の対立から協調への転換……………76
 ——中国電信の再編案の策定過程

1	中央指導者によるアジェンダ設定と政策提案をめぐる背景	77
2	郵電部から情報産業部への改組	81
3	情報産業部による分割グループ化案の提出と中央指導者による却下	83
4	サービス別分社化案の確定	91
5	情報産業部の中央指導者への影響力行使	94
6	中央指導者によるその他の政策提案と情報産業部の対応	97
結	び	102

第5章 情報産業部の事業者間調整……………104
 ——固定電話事業者の携帯電話サービス参入過程

1	PHS サービス登場の背景とその技術開発の過程	105
2	PHS サービスの争点化と情報産業部の対応	108
3	情報産業部による事業者間対立の調整	114
4	情報産業部と諸アクターの関係	117
5	PHS サービスの全面解禁	123
6	第3世代携帯電話（3G）への移行の遅れと PHS サービスの延命	128
結	び	133

第6章 情報産業部・工業情報化部と最高指導者の協調関係……………135
 ——事業者再編案・3G サービス営業免許発給の決定過程

1	TD-SCDMA に対する情報産業部の低評価	136
---	------------------------	-----

2	国務院国有資産監督管理委員会による事業者再編案策定の 頓挫	144
3	最高指導者の TD-SCDMA 支持	148
4	事業者再編案の決定	158
5	第3世代携帯電話（3G）サービス営業免許発給の決定	164
	結 び	169
終	中国共産党による一党支配体制下の官僚組織行動	170

あとがき

参考文献

索 引